

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	3	学校名	奈良高等学校
----	---	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域連携センター「平城山（ならやま）」事業
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	地域の方々と生徒がふれあう機会をつくることで、奈良高等学校をよく知ってもらうこと。
連携・協働相手	朱雀地区地域協議会、平城東中学校区小・中学校
地域と共有している目標・課題等	地域行事の活性化、地域の子どもたちの見守り活動やイベントの継続
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>地域連携センター「平城山」が中心となり、様々な地域を巻き込んだ行事やイベントを企画し、運営・参加することができた。取組の過程で、本校生徒の主体性を引き出すことや、地域住民や子どもたちと接する貴重な機会を得ることができた。</p> <p>「わくわくフェスティバル in 奈高」においては、部活動紹介などを通じて、特に地元の小中学生と親しく言葉を交わしたり、一緒に体験活動を行ったりすることができ、相互に楽しみながら活動することができた。</p> <p>「セーフティスクール活動」に参加している多くの地域の方々には、本校生徒が小学生に親しく声かけを行っている姿を見て、感激していただけた。また、多くの方々から逆に本校生徒に声をかけていただき、本校生徒がどのような活動を行っているのかを知っていただくよい機会となった。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>今年度、朱雀に移転してきた本校の様子を、様々な活動を通して多くの地域の方々に披露し、知ってもらうことができた。また、幅広い年代の方との交流が生徒の成長につながった。</p> <p>今後も引き続き、学校と地域が連携・協働し、地域全体で生徒の成長を支えていきたい。時期や内容等、生徒にも地域の方にも負担にならないように企画することも大切である。生徒の活躍する様子をより多くの人に伝えられるよう工夫し、企画していきたい。</p>
--

